

# 一般質問

(4〜7ページ上段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は21人41件の一般質問がありました。(他はその他の質問)

## 保育所運営の在り方 基本的な考えは

### 民間との連携を図り 待機児解消に努める

高野 律雄議員 保育施策については、多様な保育サービスの供給はもとより、待機児解消を最重要課題として展開している。

しかし、明確な待機児解消策が見出せないのが実情である。長引く景気低迷による財政事情や保育環境の変化から、より、充実した子育て支援を行うためには幅広い視野で大胆な改革が必要である。そこで、市の目指す保育所運営の在り方について基本的な考えを聞きたい。



## 住宅マスタープラン 公共住宅の供給 現在の経済状況で変更があるか

### 市が供給する住宅は 増戸を図る方向に進めたい

小野寺 淳議員 本年が最終年度となる「府中市住宅マスタープラン」に基づき、中堅勤労者世帯や若年ファミリー層等を対象とした住宅政策の推進や東京都などの公共住宅供給と本市との連携した住宅施策の確立を求めてきた。

また、多様な経営主体による保育サービスの提供しながら、行政としての努力と民間との連携を図りながら待機児の解消に努めていきたい。

住宅の供給は進んでいない。こうした状況の中、今後、市内の公共住宅の供給について大きな変更があるか聞きたい。

生活文化部長 都の新たな住宅マスタープランでは、供給管理戸数を抑制していくとのことだが、市が供給する住宅

## 文化の伝承や観光資源として 大太鼓を作る考えは

### 市民が触れられる 大太鼓を検討している

宮本 武蔵議員 くらやみ祭りにおける大太鼓巡行は、市民の大切な行事として、今日まで守り伝えられてきた。

この歴史ある文化を大切に保存、伝承するとともに観光資源として、行政が支援していくことは、大いに意義があることと思う。

## 学校完全週5日制 大きく変わった点は

### 休日の多様な活動により 子供の主体性が育つ

手塚 歳久議員 4月から公立学校の完全週5日制が実施された。市では教育委員会を中心に万全の準備と対応に努めてきたと思うが、受験制度に対する不安や疑問の声が聞かれ、また、部活動や学校行事について心配する声もある。



新学習指導要領が目指す「生きる力の育成」は、週5日間の学校教育と土・日の子供の主体的な活動の両方により実現できると考えられるため、市としても、学校の休日に、意欲的に多様な活動が取り組めるよう支援したい。

## 都市化の進む西部地域 災害に対する課題は

### 環境変化に応じた 施設の充実が必要

松村 寿志議員 市の西部地域は、幹線である鎌倉街道が東八道路と接続し、交通の利

環境安全部長 市は地域防災計画に基づき整備を進めている。消防ポンプ車の配置も一定基準を満たしている。また、自主



▲防災センターと消防ポンプ車

## 学校整備計画を見直し 総合的な方策の再構築は

### 新たな課題等を見直し 総合的な計画を立てていく

奈良崎 久和議員 市ではこれまで、教育について財政面

も含め多くの力を結集し、様々の施設整備や設備面での教育の充実が図られてきた。

今後も、関係課や教育委員会内部で打合せを持ち、総合的な計画を立てていきたい。